

# SDGs宣言



## 有限会社鳥居建築



2024年11月

有限会社鳥居建築

代表取締役 鳥居 大輔

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、事業活動を通して持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 取組事例

### 家づくりを通じた、一生のお付き合い。

地球環境に配慮した事業活動と、温かみの感じられる末永く愛される家づくりを通じて、大切な家族との健やかな住環境の提供を目指してまいります。

#### 《環境への取組み》

- こだわりの天然素材の優先的利用
- 建築素材の再利用、提供(学校の工作用、積み木等)
- LED照明、太陽光パネルの導入による省エネ実践
- 井戸水活用による水資源の有効活用
- 大工道具、機材等の長期利用推進

#### 《呼吸する家》

- 受注、設計、施工、アフターメンテナンスまで一括管理
- 通期断熱WB工法の採用(省エネと湿度のコントロール)
- シックハウス症候群対策の実現
- 環境に配慮した素材を提案(コットン素材の壁紙等)
- 充実した保証制度による安心と信頼性の確保  
(住宅完成保証制度登録事業者、優良住宅瑕疵保証)



### 地域の皆様にとって、身近な存在であるために。

みんなで成長を感じられる組織づくりを追求し、地域社会に必要とされる企業であり続けます。

#### 《職場環境》

- 多様な人材が活躍できる職場環境整備
- 従業員のリフレッシュ施策の実施(社員旅行、懇親会)
- マンツーマン指導による現場OJT
- 資格取得や講習会参加による人材スキルアップ支援
- 熱中症対策徹底による従業員の健康管理
- 従業員の安全性確保の徹底

#### 《地域・社会貢献》

- 移住、Uターン等に対応した住環境の整備、定住支援
- 地元業者の優先利用及び地域人材の積極的採用
- 中学生のインターンシップ受け入れ
- 地域コミュニティとの交流、ボランティア活動への参加



持続可能な開発目標(SDGs)とは

経済・社会・環境の三つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の指標として、2015年9月に国連で採択。貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言論の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標になっており、17のゴール(目標)と169項目のターゲット(達成基準)がある。

# 「永く愛される家づくり」

ほかのお家も立派だけど、やっぱり自分の家が良い  
とても素敵なおところに泊まっても自分の家の方が良い

毎日をそういう風に住んでいただければ幸せだと考えています。  
鳥居建築は建物完成を工事完了と捉えず、  
お引き渡し後も安心して住んでいただく事が大切だと考えています。  
いつまでも、愛着が持てる使い勝手やデザインにこだわり、  
お客様の夢を叶えるお手伝いをさせていただきます。



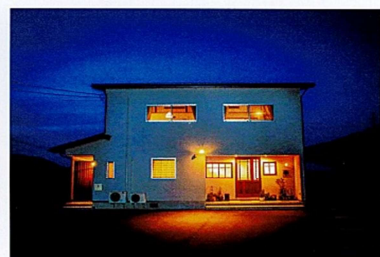
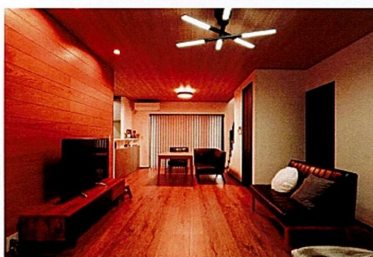
メッセージ

## 「良いものをつくりたい」

鳥居建築が創業した時から一番心がけている言葉です。

その為に必要なことは 優れた職人の手による施工 良い材料の見極め  
ひたむきな仕事への姿勢 お客様への精一杯の努力  
この考えを原点とし専属大工や各業種の職人と共に  
他では真似できない「良いものをつくりたい」を追求しています。

代表取締役 鳥居 大輔



会社HP

<https://www.toriikenchiku.com>